

トライアル  
牧原さん

## "オジジ"になりきる 戦法も イケまっせえ！



スタッフのAE86で通勤してたときのこと。ポンポン跳ねる86をオマワリさんが見逃すはずもない。チューニングにかなり詳しいオマワリさんだったけど、このクルマには呆れていた。AGのキャブ仕様でタコ足に触媒なしのスポーツマフラーと捕まつたらおしまい仕様車。だつたのだ。

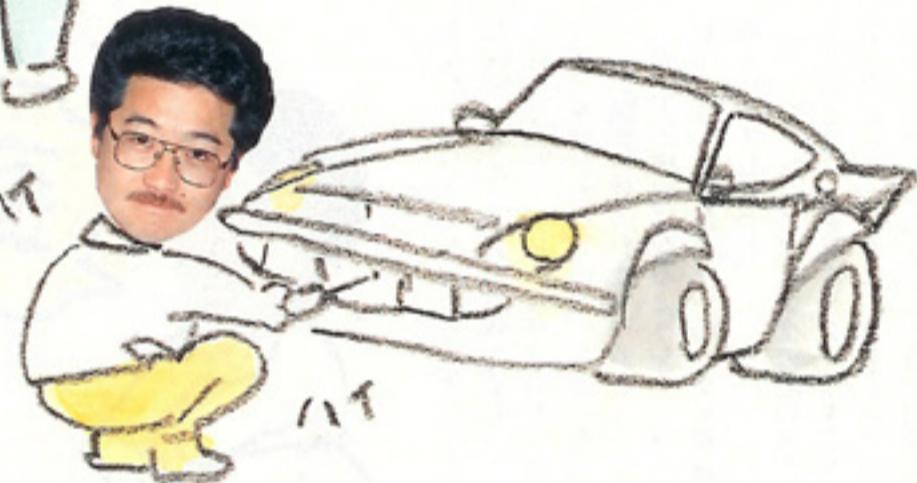
牧原さんは決意した。「これはオトボケで決めよう。なんにも知らないオジさんになりますんだ。自分でタイヤを外したこともありまへんし、若くないからクルマをジャッキで持ち上げる力もないんですワ…ゲホゲホゲホ…」これではオマワリさんもお手上げだ。



クルマに無知な哀れなオジさんに化けた牧原さんにオマワリさんは違法改造の「イロハ」を丁寧に教えてくれた。それをいちいち頭を下げる素直に聞いた牧原さんはウソみたいな話で無罪放免。「若いヤツには使えん手やな」とは本人の弁である。

今井さん  
Bee★Racing

## 素直に謝る！ コシが一番？



本牧ゼロヨン会場で、おまわりさんに強制廃車を言いわたされた時、その場で自らナンバープレートをはずした経験を持つ今井さんの、おどがめを受けた時の基本姿勢は「抵抗はしない」だそうだ。

当時今井さんが乗っていたのはS30Z。見た目はフツー（？）だけど、エンジンはL28改3.0、ソレックス50φ3連、タコ足、80φマフラー（自作）、バケットシート（助手席なし）、ロールバー、四点式、アンダーコートは剥がして、ヘッドライトは右側のみ（左はエアダクトとして使用）、車高ベッタリのオーバーフェンダー、はいてるタイ

テスター  
石川さん

## チューニングカーに この問題はつきもの おまわりさん対策 なんて特になし

今年の正月、ガラ空きの東北道をGTRで爆走中、いつの間にか後ろにパトカーが…。全然気づいていない石川さんは、200km/hオーバーで走り続ける。前がつかえて少しスピードを落とした時に初めてパトカーに気づいた。車は当然のごとくフルチューンのGTR、7点式ロールバーまで入った正真正銘の違法改造車だ。

車高が低いな…ということでお約束



前川さん  
オマワリさん対策は  
公認車検？

エスフリ

前川さんは自宅から店まで、車で2~3分の距離を走っている。

一年ほど前のある日、前川さんは、途中の交差点で一時停止違反を見張っていたはずの白バイが、知らないうちに自分を追って、店まで来ているのに気がついた。

前川さんの乗っていたGTRはエンジンから足までこれ以上イジるところはない、というくらいのフルチューンだ。ずっと後ろを追尾してきた白バイのオマワリさん曰く「後ろから見てると流れ方が変だぞ、改造しているだろ」前川さんは、自分の店でジャッキアップさせられるハメに陥ってしまった。

のジャッキアップ、でもバネは遊んでなかつたからおとがめなし、キップは「車間距離違反」で頂いた。スピードは計測していないのかそれとも正月のご祝儀か、何も言われなかつたと

いう。正月早々ラッキー（？）な石川さんだつた。

ところがその時の反則金を支払うのを忘れて、警察署へ出頭するはめに。その時にもまた「あの時の車は車高が低かったから…」と始まった。「実家でもらった米たの野菜だのいっぱい積んでいたんで、車高低く見えたんでしょ」と苦し紛れの言い訳でなんとかその場を逃れることに成功した。

普通の人なら「2度とこんなことがないよ！」と善後策を練るところだけ、「チューニングカーに乗るならこの問題は付きものだしね。特に対策なんてしてないよ」とあまり気にしていないあたりが石川さんらしい。